

1997

千葉県建築文化賞

第4回表彰作品集

千葉県建築文化賞について



千葉県知事 沼田 武

第4回千葉県建築文化賞に、多くの皆様から御応募をいただきありがとうございました。

千葉県では、県民福祉の向上と県土の均衡ある発展を図ることを目標に「ちば新時代5か年計画」を策定し、21世紀に向けた新しい千葉県づくりに取り組んでいます。

本計画では、まちづくりにおける地域文化の創造や「千葉県福祉のまちづくり条例」に基づく生活福祉空間づくりなどを掲げておりますが、これらの実施にあたっては県民のニーズを十分に踏まえた施策の推進が重要であります。

千葉県建築文化賞はこうした施策の一環として、うるおいとやすらぎに満ちた快適なまちづくりを推進することを目的に創設したもので、景観に配慮した建築物と高齢者、障害者等に配慮した建築物の表彰を実施しております。

第4回目の今年度は87件の御応募をいただきましたが、これらの応募建築物の中から選考委員による現地審査を含めた厳正な選考過程を経て、景観や高齢者、障害者等への配慮がなされた優れた建築物として建築文化賞5点、建築文化奨励賞5点を決定いたしました。

今後、県ではこれらの建築物が都市景観の形成や建築文化の向上の先導役となるような生活環境づくりを推進してまいり所存ですので、県民の皆様方におかれましても、より一層の御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、選考委員をはじめとする関係者や応募された方々、後援・協賛団体各位の御協力に感謝を申し上げます。

平成10年3月

選考経過・総評

選考委員長 守屋秀夫

第4回建築文化賞に対して今年も多くの方々からご推薦をいただき、応募総数は前回は上回る87件(建築数で82点)となった。県下各地の一般県民を含むいろいろな方からご推薦をいただいたばかりでなく、建築物の種類もさまざま、規模も大きいものから小さいものまで各種のものが推薦されてきた。

ただ、今回も景観に配慮した一般建築物と住宅、高齢者・障害者等に配慮した一般建築物と住宅の4部門に分けて募集したが、推薦された建築物は景観に配慮した一般建築物が3/4近くを占め、高齢者等に配慮した住宅は1件にすぎなかった。ハートビル法の施行もあって、とくに高齢者・障害者用の建物でなくても障害者等に配慮した設計とする考え方が普及してきたことは現地審査でも実感されたことであり、高齢者・障害者等に配慮した設計の模範となる建築物・住宅がもっと数多く現れることを期待したい。

審査は、まず応募図書に添付された説明書と写真によって18点の建築物を選び、これらを現地訪問して詳細に調査した。このとき、これに次ぐものとしてさらに20点を選んで奨励賞の建築物を選ぶときの候補とした。2次審査では、現地調査の報告をもとに討議のうえ表彰者を決定した。なお、応募件数の多寡と建築物の優良さを勘案して、当初予定していた部門別の表彰件数とは異なる配分とせざるをえなかった。奨励賞の選定は、2次審査の段階で、現地審査に行かなかった20点も含めて審議し、この中からは「防災備蓄倉庫」と「ティンバーヤード」を表彰候補とすることを決め、これらについては現地審査を追加して、確認のうえ最終的に確定した。

審査にあたっては、それぞれの部門の趣旨に合致していることはもちろん、美しく、誰からも親しまれる形をもつこと、これらのために独自の工夫がみられること、建物の利用・運営にも適切な心遣いがみられることなどを重視した。

景観に配慮した建築物

今回の応募建築物には、県市町村立といった自治体の建てた建築物が比較的多かった。ひとことと較べて、民間の豪華な建物が影を薄くした反面、公立施設の質が向上してきた表れとみてよいであろう。

現地審査のために各地を回った感想としても、いたずらに人目を引こうとしたデザインよりも、実質的な質のよさに努力が払われるようになり、良質なストックが蓄積されていると思う。応募者の目も年とともに肥えてきているように感じられた。

その中で、「大多喜小学校」は大多喜城を背景に、歴史的な風情を盛り込んだ外観をとりながら、新しい教育方式に積極的に取り組んだものとしてすばらしい。学んでいる児童たちが嬉々としていながら礼儀正しいのを見ると、建築のもつ力を実感する。「和洋女子大学佐倉セミナーハウス」は、建物と周囲のランドスケープとの関係が巧みで、日本の伝統的感性を外国人設計者にしてやられた感がある。「かずさアカデミアホール」は「オークラアカデミアパークホテル」と隣接し、一体的に計画されたものであるが、両者の調和にやや不十分さがみられたので、「ホール」だけを表彰の対象とした。

「木更津の家」は質の高い和風住宅であるが、地場産の材料と技術を積極的に取り入れた点と格調の高さが評価された。

高齢者・障害者等に配慮した建築物

この部門の応募建築物は、前回は指摘したように、どれも、段差をなくし、手すりをつけるなどの必要条件是満たしているが、どこまで障害者等の立場で考えているかというその先の配慮がまだ十分とはいえないように見受けられた。その中では、「浦安市当代島公民館」が中にいた利用者たちがもっとも生き活きとしていたので、地域の人たちに密着した施設となっていると判断して、この点を評価に加えた。

住宅部門には、残念ながら適切なものがなかったため、該当建築物なしとして、代わりに景観部門の表彰点数をふやすことにした。



建築文化賞

景観に配慮した一般建築物

かずさアカデミアホール

所在地：木更津市矢那1637

施主：千葉県

設計：(株)坂倉建築研究所

施工：(株)竹中工務店 三井建設(株) (株)銭高組



撮影：北嶋俊治

上総の丘陵地に自然環境との共生をコンセプトに開発されつつある学術研究都市のセンター施設である。

尾根の地形を活かして配置された建物は、表と裏で大きく表情を変える。正面は、この土地の土の色に合わせた淡い褐色煉瓦の長い壁面で構成され、修景池に浮かぶガラスの円筒がエントランスホールになっている。来訪者は、ここからオートスロープで水上を移動し、光あふれるメインロビーへ導かれる。

これに対して南面は、ガラス、金属、コンクリートで構成され、21世紀を目指す先端技術開発拠点にふさわしいシャープな表情を生みだしている。メインロビーと大小の会議室を結ぶホワイエからは、ガラスの壁を通して四季折々の自然を満喫することができる。

楕円形プランのメインホールの外壁は、コバルト色のチタン陶板で覆われ、丘陵の緑と調和しつつ、遠方からも望むことのできるランドマークになっている。

建築としての完成度の高さ、丘陵地の景観との調和、いずれの点でも質の高い作品と言えよう。

なお、本ホールの隣にはホテルが同時に建設されて



撮影：北嶋俊治

いる。両者を合わせて対象にしてはどうかとの意見もあったが、異質なデザインの調和の面で疑問が出され、今回はホールのみでの授賞となった。

(北原理雄)

所在地：夷隅郡大多喜町大多喜1 2

施主：大多喜町

設計：(株)榎本建築設計事務所

施工：(株)屋代工務店 式田建設工業(株)

景観に配慮した一般建築物

大多喜町立大多喜小学校



4

城下町大多喜町立の小学校。オープンスクール方式を採用して新しい教育方式と環境のあり方を提案している斬新な作品。

プランは2棟の平屋建ての低学年クラスと特殊学級クラスをつつむように多目的ホールを中心としたL字型の校舎が並ぶ。校庭に入ってゆくと四つのトンガリ屋根の平屋の校舎の先に、町の伝統を思わせる2階建ての校舎が展開し、その先に丘の上の大多喜城が視界に入り、リズムミクなパノラマを造り出している。

各クラスを繋ぐワークスペースは多様な学習活動とコミュニケーションを可能にしている。タタミコーナーを設けたクラスターは、先生に叱られもせず寝転がって本を読める、子供の視点からの快適性を感じる。

コンクリートの近代性と伝統的な木質の組み合わせが巧みに演出されている。屋外教室としてのスペースは各棟に連続性を持たせ、自然環境を日常生活の場に取り入れるのに有効であった。

子供達が嬉々として先生と共に廊下の掃除をしている姿に接し、教育とその環境のあり方の転換を実感した。「町と共に満足している。こんなに愉快で楽しい通勤をしたことがない」と言われた新しい校長先生の



撮影：教育と施設

言葉は実感として受け取れた。町の要望に応えた設計者と、面積や予算面での葛藤があったにも拘らずこの計画を受け入れた町に敬意を表したい。

(島貫俊秀)

景観に配慮した一般建築物

和洋女子大学佐倉セミナーハウス

所在地：佐倉市ユーカリが丘5-4-1

施主：学校法人和洋学園

設計：ナンシー・フィンレイ+千葉学
/ファクターエヌアソシエイツ

施工：戸田建設(株)



撮影：中道淳/ナカサ&パートナーズ

佐倉市の郊外に広がる、自然豊かなユーカリが丘ニュータウンの一角に建つセミナーハウスは、120人の学生と10人の教員を対象とし、宿泊しながら研修を行う目的で建てられた施設である。

平坦で広大な敷地に対し、工事の残土を場外に出さずランドスケープとして有効に利用している。微妙な起伏や木々の列植を用いて、建築とランドスケープが一体感をもったすがすがしい建築を実現しており、その点が高く評価された。

また、研修棟とS字の宿泊棟に2分される施設の間には、自然を強く感じさせる「緑の丘」や「池」が配置され、通りぬける風や光を水面が柔らかく反射している。宿泊棟は4人単位の独立した個室にわけられ、隙間から周辺の緑が見え隠れしていて解放感を持っている。全体として建築が自然を穏やかに取り囲みながら、周囲へ開いているせいか、周辺から足を踏み入れたいくなるような印象を与えている。

今後この施設を地域へも解放して行く可能性がある



撮影：中道淳/ナカサ&パートナーズ

とお聞きし、地域住民と一体になった文化施設として、さらに活用されてゆくことを楽しみにしていきたい施設である。

(工藤和美)

所在地：木更津市清見台
 施主：大澤藤満
 設計：濱田昭夫(TAC濱田建築設計事務所)
 施工：(株)新昭和

景観に配慮した住宅
木更津の家(大澤邸)



撮影：小林浩志/スパイラル

清見台の眺望のよい丘陵地に建つ瀟洒な和風住宅で、屋根の形や全体のプロポーションが周辺の景観と見事に融合した美しい佇まいである。

木材の質感を存分に引き立たせるようなディテールが随所に工夫され、柔らかい暖かみのある建築空間を構成している。

敷地は南斜面の造成地で、北側隣地の境にある高さ3mの擁壁に対する地震時の安全性を確保するために、擁壁の基礎を兼ねたRC造の地下備蓄庫を設けた。

玄関及び中庭のレベルを中二階とするスキップフロア構造で、上下階を二世代住宅として生活している。

雁行型プランとし、浴室と全ての居室を南面させることにより、快適な居住性と良好な眺望を求めた。

屋根は東西に棟を通した長手2段の切妻とし、深い軒先と雁行するバルコニーの彫りの深い陰影が美しい。

木材や石、砂等はできるだけ地場産を使用し、大工や左官、建具等の職人も地元の優れた伝統技術をもった腕前を集めて、地方の産業、文化や職人の技を生かそうとする設計者の姿勢に強く共感を覚えた。

時間の経過とともに古色を増して、ますます深みが出てくるような味わいのある住まいが完成し、幼い頃の原風景であった旧家への思いが設計者に伝わって、期待通りの出来栄に施主は満足の様子であった。

(明智克夫)



撮影：小林浩志/スパイラル



高齢者、障害者等に配慮した一般建築物
浦安市当代島公民館

所在地：浦安市当代島2-14-1
施主：浦安市
設計：(株)久米設計
施工：西松建設(株)



撮影：(有)アラ井建築写真事務所

東西線の浦安駅から徒歩8分の旧市街地の中に建てられた4階建ての地域学習交流拠点である。角地に立地するとはいえ、2階のテラスが道路の向かい側のマンションと目線があってしまうような密集した町中の建物である。そのような条件ながら出来るだけ開かれた空間を作り出したいとの意向から、エントランスを限られた敷地面積の中で比較的広く確保し、駐車場を1階に納めて、その2階部分以上を体育館としている。

また、1階の道路沿いに図書館、喫茶コーナーを配置しているが、4メートルセットバックして歩道と連続した幅広い遊歩道とし、広いガラスの外壁とすることで、外を通行する人が内部を見通すことが出来る。図書館で本に親しむ人の姿が通りから見えるのがよい。

公民館の内容としては、体育館、知的障害者の親の会が運営する喫茶コーナー、保育さん付きの保育室を設けている他は、図書館、工芸工作室、和室、調理室、会議室などであり、それぞれの設備は一寸よいかない程度である。また、障害者や高齢者のための標



撮影：(有)アラ井建築写真事務所

準以上の特段の配慮がなされているというわけでもない。しかし、平成6年から町づくり懇談会で検討してきた成果であろうか、親しみやすい雰囲気があり、利用頻度の高さが感じられた。

(川上昌子)

所在地：浦安市高洲26・富岡4-4-2

施主：浦安市

設計：(有)HAN環境・建築設計事務所

施工：(株)山一建設 (株)ウラタ

景観に配慮した一般建築物

浦安市防災備蓄倉庫

災害は忘れた頃にやってくる。阪神大震災の教訓から、避難場所となる都市公園に、防災備蓄倉庫の設置が全国的にすすめられている。

人口急増の浦安市は、かねてより防災対策に積極的に取り組み、すでに市内40ヶ所に緊急用食料や防災機材を備蓄しているが、あらたに2ヶ所の公園（高洲中央公園、中央公園）に完成した防災備蓄倉庫は各々同じデザインによる40坪ほどの独立した小建築物。本来は都市の裏方の役割の存在だが、デザインによって都市景観に彩りを与える存在になる好例として評価された。

倉庫は緊急時を目的としているので非日常的な存在だが、公園内では日常的な景観要素となる。しかもその用途を「いざ」に備えてつねづねアピールしておくことも必要。この点、同じデザインの備蓄倉庫は目印となり、今後のプロトタイプになろう。まずは耐震構造、太陽光や風力発電装置、トップライト採光などが基本条件となるが、この設計の成功は、そうした機能条件を率直な外観デザインに転化させたところにあり



例えばクルクル廻る風力発電の風車が遠くからも見えて公園の楽しいアクセントになっているなどである。

脇役がドラマを盛り上げるように、小さな公共建築が都市の機能と表情を支える大切な役割を実現させたといえよう。

(野口瑠璃)

8

所在地：千葉市美浜区新港117

施主：並木木材(株)

設計：(有)設計アトリエ一級建築士事務所

施工：(有)木源ハウジング

景観に配慮した一般建築物

ティンバーヤード



撮影：井祐広之

千葉市美浜区の埋め立て地の一画にある材木店の事務所、店舗、DIYスペースの3棟から構成される建物群である。周辺は木材団地として開発され、今も大きな区画割りの中に波板鉄板の倉庫が林立している。

そのような緑も少ない殺風景な中で、この建物群は大断面集成材を用い、外部に重量感のある木の構造

体を露出し、外壁の一部にも木板を貼ったことによって、周囲とは異なる柔らかな表情を見せている。また、それらの木材自体がこの材木店の取り扱い商品であり、PR効果を持つというユニークさがある。さらに、3棟中央のDIY棟は既存倉庫を改修したものであり、外装材を新築の2棟と統一することによって、一体感

のあるデザインになっている。

ここには、一民間企業の取り組みが地域の景観形成に寄与する可能性が示されている。これに続く試みが今後各地でも展開されることが大いに期待される。

(園田真理子)



景観に配慮した住宅 学校脇の住宅

千葉市の中心地に近い閑静な住宅地に建つ2階建の住宅。外観は高さをおさえて、コンクリートの打放しと羽目板で木の感覚を表現し、広くない前面道路に圧迫感がなくまちなみにとけ込んでいる。

母親と本人夫婦、娘2人の3世代の家族構成に週末には姉夫婦も加わり、上部の吹抜けを通して自然を取り入れ、家族の存在をお互いに暖かく認めあえるアイランドキッチンを中心に団樂ができる。中庭を居間の一部に取り込み、高齢社会に対応する一つの住宅のパターンとしても評価できる。

初めての訪問者には自由さは感じられるが、エントランスにわかりにくさがあり、学校脇の住宅としての題材には、地域と学校との関連にもう一工夫してほしい。

(周郷紀男)

所在地：千葉市中央区末広

施主：榎本節子

設計：(株)榎本建築設計事務所

施工：(株)東條工務店



撮影：新建築写真部

9

高齢者、障害者等に配慮した一般建築物 鎌ヶ谷市東初富公民館

所在地：鎌ヶ谷市東初富1-10-1

施主：鎌ヶ谷市

設計：(株)桑田建築設計事務所

施工：坂田建設(株)



周辺に梨畑の残る田園風景の中に建つ公民館である。単なる集会だけでなく社会教育の場としても活発に利用されることをめざして、ホール、集会室の他に図書室、創作室、学習室、保育室などを備えている。

利用者は、小さな子供から、高齢者、障害者まで幅広く、特に障害のある方々から高い評価を得ているとのことである。建物では、ハートビル法や千葉県福祉のまちづくり条例の基準が誠実に守られている。車いす用トイレ、各所の点字案内や誘導ブロック、手すり、各室最低1カ所のハンガーアフの設置など、几帳面かつ丁寧に設計されている。

ただ、惜しむらくは、建物の外観や各所のデザインに堅さがみられたことである。地域の公民館として、通りすがりの人が自然に立ち寄り、気軽に利用できるような柔らかさが加わったなら、真の意味でのバリアフリー・デザインになったのではなかろうか。

(園田真理子)

所在地：印西市竹袋614-9
 施主：印西市
 設計：(株)日建設計
 施工：清水建設(株)

高齢者、障害者等に配慮した一般建築物 印西市総合福祉センター

恵まれた敷地に平屋建てのL字型プランとして、老人福祉センター・児童館・地域福祉センター・心身障害者福祉作業所の四つの機能と管理部門を巧みにゾーニングした建物である。

それは施主及び設計者の「世代を越えた交流の拠点となる施設」「すべての人に安全で使いやすく、運営・管理しやすい施設」「自然エネルギーを利用した環境にやさしい施設」という「設計の基本方針」がよくうかがえる。

環境問題に対する配慮から自然を出来るだけ建築内部に取り込むテーマとして、ライトシェルフ、クール・ヒートチューブ、二重構造屋根等を駆使し快適な室内気候を確保する積極的な省エネ対策に取り組んでいる。

内部空間は人にやさしい暖かみのある素材と品の良い色調の適度な変化で快い空間を生み出し、格調あるデザイン構成に、利用しやすい機能性、環境にやさしい建築

を追求した優れた公共施設として評価できるが、ただ外部サッシの開閉部がきわめて少なく、なぜ中間期の自然風の利用に配慮がなかったのかは疑問である。

イニシャルコストとランニングコストとの関連が気になるが、採用された当市の勇断に敬意を表すると共に今後の運営を見守りたい。

(相原敏郎)



応募(推薦)建築物一覧

表彰作品

- ① かずさアカデミアホール(木更津市)
- ② 大多喜町立大多喜小学校(大多喜町)
- ③ 和洋女子大学佐倉セミナーハウス(佐倉市)
- ④ 木更津の家(大澤邸)(木更津市)
- ⑤ 浦安市当代島公民館(浦安市)
- ⑥ 浦安市防災備蓄倉庫(浦安市)
- ⑦ ティンバーヤード(千葉市)
- ⑧ 学校脇の住宅(千葉市)
- ⑨ 鎌ヶ谷市東初富公民館(鎌ヶ谷市)
- ⑩ 印西市総合福祉センター(印西市)



現地調査の対象となった建築物(表彰建築物を除く)

- 城山わんぱくハウス(天津小湊町)
- オークラアカデミアパークホテル(木更津市)
- かずさアーク(木更津市)
- 国民宿舎サンライズ九十九里(九十九里町)
- エコ・ガーデン(千葉市)
- モラロジー 研究所
柏生涯学習センター研修寮(柏市)
- さわやかちば県民プラザ(柏市)
- Y-HOUSE(東金市)
- ケアハウス辰巳彩風苑(市原市)
- 軽費老人ホーム大佐和苑(富津市)
- 新検見川の家(千葉市)

その他の応募(推薦)建築物

八街市立八街北中学校(八街市)
 OFFICE H-197(東金市)
 白浜町フローラルホール(白浜町)
 プラザ・ラ・マレア(市原市)
 千葉県緑川排水機場・千葉県文書庫(千葉市)
 千葉県国際総合水泳場(習志野市)
 千葉市立あすみが丘小学校(千葉市)
 鴨川オーシャンパーク(鴨川市)
 本埜村立滝野小学校(本埜村)
 成東町下町郷倉(成東町)
 伊藤薬舗(成東町)
 八千代ふるさとステーション(八千代市)
 千葉中央警察署千葉駅前交番(千葉市)
 旭市総合体育館(旭市)
 千葉市長沼勤労市民プラザ(千葉市)

大網白里町立瑞穂小学校(大網白里町)
 千葉市立有吉中学校(千葉市)
 白菊幼稚園(市川市)
 館山職員住宅・職員寮(館山市)
 医療法人社団成和会山口病院(船橋市)
 佐倉市立志津保育園(佐倉市)
 旭町シェイクスピア・カントリーパーク(丸山町)
 鎌ヶ谷市鎌ヶ谷消防署(鎌ヶ谷市)
 船橋市アンデルセン公園(船橋市)
 船橋市アンデルセン公園子供美術館(船橋市)
 城西国際大学(東金市)
 知沢動物病院(木更津市)
 新浦安オリエンタルホテル(浦安市)
 亀田クリニック(鴨川市)
 大原山七福天寺本堂(大原町)
 コモード西千葉ビル(千葉市)

館山市立房南中学校(館山市)
 東京情報大学総合情報センター(千葉市)
 住友ケミカルエンジニアリングセンタービル(千葉市)
 日本基督教団佐倉教会(佐倉市)
 下田康生堂(成田市)
 不動うどん(成田市)
 (有)しのん(成田市)
 千葉市立扇田小学校(千葉市)
 松戸市和名ヶ谷スポーツセンター(松戸市)
 君津市八重原公民館(君津市)
 松戸市八ヶ崎消防署(松戸市)
 実初駅(習志野市)
 土気の家(千葉市)
 T邸新築工事(東金市)
 山田の家(山田町)
 朝日ヶ丘住宅(千葉市)

飯岡の家(飯岡町)
 岩沢動物病院(君津市)
 北総蔵・酒々井まがりや家(酒々井町)
 幕張ベイタウンパティオ16番街(千葉市)
 野田の家(杉崎邸)(野田市)
 アバンドーネ原5番街他(印西市)
 オーベル西の原(印西市)
 大森の家(土橋邸)(千葉市)
 東京都千葉福祉園生活棟(袖ヶ浦市)
 佐原市庁舎(佐原市)
 我孫子市西部福祉センター(我孫子市)
 松戸ニッセイエデンの園(松戸市)
 流山中央病院(流山市)



デザイン：株式会社GKプランニングアンドデザイン
制作：鋳心工房

選考基準

- 1.千葉県内において、平成4年4月1日から平成9年3月31日までに完成（増築、改築、リフォームを含む）し、現在良好に管理され、また、使用されている建築物で、この表彰の趣旨に適合しているもの。
- 2.優れた建築物であり、次のいずれかに該当するもの。
 - ①地域の特性や周辺環境に十分な配慮がなされ、建築物と外部空間が一体となって魅力ある景観を創出し、地域の景観形成に寄与しているもの。
 - ②安全性、快適性、利便性に優れ、高齢者や障害者等がいきいきと豊かな生活が送れるように十分な配慮がなされ、社会活動への参加が容易にできるような環境整備がなされているもの。
- 3.建築基準法等の各法令に適合しており、近隣との紛争が生じていないもの。

選考委員

委員長	守屋秀夫	：昭和音楽大学教授・千葉大学名誉教授	委員	周郷紀男	：(社)千葉県建築士会会長
副委員長	北原理雄	：千葉大学工学部教授	委員	園田真理子	：明治大学理工学部専任講師
委員	相原敏郎	：(社)千葉県建築士事務所協会会長	委員	高梨嘉己	：(福)千葉県社会福祉協議会常務理事
委員	明智克夫	：千葉県建築設計監理協会会長	委員	辻宜志	：(社)千葉県建設業協会専務理事
委員	海老根寧	：(福)千葉県身体障害者福祉協会理事長	委員	野口瑠璃	：(株)GKプランニングアンドデザイン取締役社長
委員	川上昌子	：淑徳大学社会学部教授	委員	山田昇	：読売新聞社写真部部長待遇
委員	工藤和美	：(株)シーラカンス代表取締役	委員	荒孝一	：千葉県社会部長
委員	島貫俊秀	：(社)日本建築家協会・千葉代表	委員	齋藤市衛	：千葉県都市部長

※敬称略・委員は五十音順

共催・後援・協賛団体一覧

共催 (社)千葉県建築士会

後援 (社)日本建築家協会・千葉 (福)千葉県身体障害者福祉協会
(社)千葉県建設業協会 千葉県建築設計監理協会
(社)千葉県建築士事務所協会 (福)千葉県社会福祉協議会

協賛 千葉県住宅供給公社 住宅・都市整備公団 千葉県昇降機等検査協議会
(財)千葉県都市公社 京葉ガス(株)
千葉県土地開発公社 千葉ガス(株)
(財)千葉県都市整備協会 大多喜ガス(株)
(財)千葉県地域整備協会

第4回千葉県建築文化賞にご応募いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。
応募総数87件の中から建築文化賞、建築文化奨励賞各5点を表彰させていただきましたが、この他にも優れた建築物は数多くありました。建築文化賞はこれからも続けてまいりますので次回への御応募を期待しております。
最後に千葉県建築文化賞に後援・協賛をいただきました団体の皆様に厚く御礼申し上げます。

お問い合わせ先

千葉県都市部建築指導課
〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1
TEL.043-223-3186

(社)千葉県建築士会
〒260-0854 千葉市中央区長洲2-12-25
TEL.043-222-0109

千葉県